

聖華

—盛岡大学短期大学部 後援会だより—

第 31 号

発行日：令和 8 年 3 月
発行：盛岡大学短期大学部
後援会
〒 020-0694
岩手県滝沢市砂込 808 番地
TEL(019)688-5555
FAX(019)688-5577

主な内容

後援会関係

後援会長あいさつ	2
学長あいさつ	3
特色ある教育活動の紹介	7～9
令和 6 年度の就職状況	10～11
聖華祭	12～13
令和 7 年度前期特別奨学生	14

令和 6 年度後援会行事・事業報告	15
-------------------	----

アネモネ会関係

出会いを大切に	4
活躍する卒業生	5
アネモネ会活動報告	6



令和 7 年度スポーツ大会



『はじめの一步、応援しています』

盛岡大学短期大学部後援会 会長 武田 幸恵

春の柔らかな光が滝沢のキャンパスの木々を包み、希望に満ちた門出の季節が巡ってまいりました。後援会の皆様におかれましては、日頃より後援会活動に対し、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。この春、晴れてご卒業を迎えられた皆様、誠におめでとうございます。後援会を代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。また、今日まで学生たちを慈しみ、熱心にご指導くださいました学長先生はじめ、諸先生方、職員の皆様に保護者を代表して深く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆様。今、皆様の胸にはどのような思い出が去来しているのでしょうか。それぞれのご家庭でまた、新しいステージに進む特別な日を迎えられたことと思います。我が家にとりましても、娘は附属高校からこの盛岡短期大学に進学いたしました。高校までとは違う、幼児教育という「専門の学び」に触れた彼女は新しい学びに興味津々でした。ただ知識を覚えるだけでなく、子どもの発達に不思議に驚き手遊びやピアノに励みながらも『どうすれば子どもたちが笑顔になるか』を真剣に考える。そのような「誰かのために一生懸命になる喜び」を知った皆様の2年間はこれからの人生を支えてくれる、何物にも代えがたい宝物になったはずです。

実は、私自身もかつてこの大学で、皆様と同じように学び、卒業した一人です。現在は保育士として現場に身を置いておりますが、今年度後援会会長という大役をいただいたことで、私にとって忘れられない喜びがありました。それは、かつての私の担任の先生や、ご指導いただいた先生方と、後援会活動を通じて再びお会いしゆっくりとお話する機会をいただけたことです。

数十年ぶりに先生方と語り合う中で感じたのは、学生一人ひとりを大切に思う学校のあたたかな眼差しが今日までずっと変わらずに受け継がれ

ているということでした。先生方は皆様が学生生活の中で悩み迷い不安な時にもその成長を信じていつも優しく背中を押してくださいました。その温かさに触れ、私自身も卒業生の一人として改めてこの大学で学んだことを誇らしく感じた2年間でした。

これから皆様は、それぞれが選んだ新しい道へと踏み出していきます。保育の道へと進む皆様。子どもたちと関わる毎日は、驚きと発見の連続です。私自身の経験から言えることは、子どもと向き合う時間の中には、毎日必ず、ふっと心がほほけて『笑いあえる瞬間』があるということです。不思議なことに、保育者自身が反対に元気をもらう事も山ほどあります。そんな小さな幸せを、これからたくさん見つけていってください。時代はどんどん変わっていきますが、子どもたちが求める安心感はいつの時代でも同じです。また、保育とは別の道、新しい世界へと進む皆様。この2年間で学んだ「相手の心に寄り添い、みんなが過ごしやすいように工夫する力」は、どんな仕事を選んでも、あなたを助けてくれる大きな力になります。幼児教育の学びとは、ただ技術を身につけることではなく、「人を大切に想う」心を育てることではないかと思えます。ここで過ごした日々には自信をもってあなたらしく一歩ずつ進んでください。最後になりますが、保護者の皆様、今日までお子様を信じ、支え抜かれたその歩みに心からの敬意を表します。卒業生の皆様の未来が、子どもたちの笑顔のように輝かしく、希望に満ちたものであることを心より祈念し、後援会からの、そして一人のお母さま方の仲間としてのご挨拶とさせていただきます。大好きな盛岡大学短期大学部のますますの発展を祈念しております。



がんばれ認定絵本士

盛岡大学短期大学部 学長 長谷川 公一

1月19日短期大学の認定絵本士資格認定証の交付式に出席しました。認定絵本士養成講座は、ご自身絵本作家でもある澤口たまみ先生のご努力で、2024度からはじまったものですが、この日が最初の認定証伝達式でした。認定証を受けとった2年生36名の方々が本短期大学での第1号の認定者となりました。この養成講座は、現在、岩手県内で唯一の講座です。東北地方では、養成講座のある短大は本学を含め4校、4年制大学は1校、計5校が青森・宮城・岩手の3県にあるのみです。

ライブのステージが決してすたれることがないように、SNSやAIの時代になっても、コンピューターがどんなに発達しても、生身の人間による絵本の読み聞かせがなくなることは決してありません。子どもたちの目の前で、保育士さんが、子どもたちの反応を見ながら、感情を込めて、声量や声色、読むスピードなどを自在にコントロールしながら読み聞かせをする、ときにはアドリブで方言をまぜるとか、独自の工夫をする、読み手と聞き手との間の一体感、臨場感。共有しあえる、その場で互いに確認しあえるワクワク感、ドキドキ感。読み手の熱量。そういう一度限りの、その場限りの魅力に、テレビも、SNSやAIもとうていかないません。

絵本は子どもたちにとって、世界への窓であり、社会への窓です。情操を育み、心の栄養になります。

みなさんは、全国的にみても、まだまだ数少ない認定絵本士のパイオニアであることに誇りをもって、保育の現場で、存分に活躍してください。

認定絵本士ってスゴイな、素晴らしいな、と、認定絵本士という資格が世の中にもっともっと受け入れられるように、広がっていくように、鍛え上げた実力を、保育の現場で見事に発揮してくだ

さい。そして第一期生としての横のつながりをこれからも末永く大事にして、卒業後もお互いに励ましあって、あの絵本とても良かったよとか、ノウハウや情報交換、苦労話や悩みの交換を続けてください。そして実務経験を積んで、さらに上級の絵本専門士をめざしてください。澤口たまみ先生を見習って、いつの日にか、自分でもオリジナルの絵本づくりに挑戦してみてください。

本日は本当におめでとうございました。

当日の私の挨拶です。認定証を受け取った、学生たちのキラキラした笑顔が印象的でした。

先日の朝日新聞デジタル(2026年2月11日付け)によれば、全国の親子3万7000組のデータを用いた東北大学の小児科の医師らの研究で、1~3歳児に対する保護者による絵本の読み聞かせは、幼児の言語能力だけでなく、運動能力や社会性なども含めた幼児の心身の発達全般によい影響を与えることが明らかになったとのこと。しかも発達の遅れが疑われる子どもにも、継続して高い頻度で読み聞かせをすると大幅な改善効果が見られたとのこと。絵本の読み聞かせのもつ意義を検証した貴重な研究成果です。認定絵本士の今後の普及にも追い風となりうる研究です。





「アネモネの花だより」

盛岡大学短期大学部同窓会 アネモネ会 会長 谷藤 育子
(保育科5回生)

幼児教育科59回生の皆さん ご卒業おめでとうございます。そして、「アネモネ会」への入会を心より歓迎いたします。

短大での2年間、共に学び成長を重ねてきた52名の同期生とも別れの時を迎えます。是非、卒業後も深い絆で繋がって行ってくださることを願います。

今回、私の「アネモネの花だより」は、同期生同士の繋がりのあり方を、保育科5回生を紹介しながら提案したいと思います。私たち保育科5回生は、昭和47年3月の卒業で45名で母校より巣立ちました。

少ない人数でしたので全員との関わりが深く、仲間意識も強かったと思います。ですが、卒業式当日は緊張で互いの顔を見ていないと全員が言います。

ほとんどが幼稚園、保育園への勤務が決まっていました。5年後、初めてのクラス会が開催されました。各々の職場の様子等の話題で盛り上がりました。みんな笑顔で生き生きしていました。

その後、幹事は輪番制で数年に1度の開催でした。各々の環境もどんどん変わり、話題も盛りだくさんで毎回賑やかになります。2年おきの開催が定着し、在住地域(盛岡組、花巻組、沿岸組、仙台組、東京組…)を巡って開催し、顔合わせを楽しんでいます。私たちは、70代半ばのおばあちゃんになりました。

この間には、もちろんいろいろなことが世の中、各々の身に起こりました(病気、事故、大震災…)

私たちは、出来る範囲内で連絡を取り合いそして、助け合うこともあります。

さて、去年は盛岡組幹事の当番でした。“大学を見たい“盛大さんさ”を見たい。

そこで、大学祭当日にクラス会開催を併せました。当日はマリオス前から大学送迎バスに乗ってドキドキしながらの母校訪問です。大学のあまりの大きさに、みんなの口がポカーンと開きました。

そこになんと、高橋理事長先生が会いに来てくださって、やさしい笑顔でのお話も頂き感激でした。(あんな雲の上の方にお会いできて嬉しい…。みんなの後の感想です!)

たくさんのお客様さんにも親切にして頂き、夢のような時間を母校で過ごしました。

さて、次回は花巻組当番とか!

これからも、少しずつおばあちゃんになりながら賑やかに語り続けることでしょう! 私たち5回生は、創設者 細川泰子先生の教えの通り、各々がアネモネの花一輪となって、あちらこちらで強く、美しく咲き、いつも感謝を忘れず、誇らしく生きてきました。そして、互いを思い合う深い絆の仲間です。

59回生の皆さん、同期への思いを持ち、同期生同士が繋がって行こうとする気持ちを持ち続けて欲しいと心から願います。

私たち5回生のように、半世紀経って、いえ、それ以上の年月を経ても母校に会いに来る「アネモネの花たち」になってください。

59回生の皆さんが、たくましく大きく花開く“アネモネの花”となって活躍してくださることをアネモネ会員一同祈念いたします。



学祭訪問：2025.10.11 5回生同期のアネモネたち

シリーズ 活躍する卒業生



「卒業生に向けたメッセージ」

(盛岡大学短期大学部同窓会 アネモネ会 事務局長)

幼児教育科 40 回生 藤田 清澄

卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。この度、「聖華」を通して皆さまにご挨拶できることを、心から嬉しく思います。

私は幼児教育科 40 回生として学びました。当時、同級生は 180 人を超え、その中の男子学生は 15 人。特によく一緒に遊び、語り合ったのは私を含め男子 5 人組でした。人数で言えば小さな輪かもしれませんが、たった 2 年間で、今も続く「一生の友達」に出会えた時間だったと感じています。卒業してそれぞれの道を歩んでからも、近況を報告し合ったり、節目に相談できたりする関係が残っていることは、私にとって大きな支えとなっています。

もう一つ、私の短大時代を語るうえで欠かせないのが、2 年次に学友会長を務めた経験です。行事の企画運営や調整ごとに追われ、思うように進まず焦ったこともありました。それでも最後までやり切れたのは、周りの仲間の助けがあったからです。声をかけてくれる人、裏方で支えてくれる人、率直に意見をくれる人。「一人で抱え込まなくていい」ということを、あの頃の私は仲間から何度も教えてもらいました。

現在私は、保育者養成校の教員として学生と向き合う立場にあります。一方で、当時の友人たちは保育現場で奮闘していたり、別の職場で力を発揮していたりと、舞台は違ってもそれぞれの場所で真剣に日々を積み重ねています。話を聞くと、同じ学び舎で培ったものが、形を変えて今も息づいていることを実感します。

事務局長としての近況も、少しご報告させていただきます。母校支援の一環として、役員の方々と共にスポーツ大会の場で記念品を贈呈する機会がありました。学生の皆さんのひたむきな姿に、こちらが元気をもらうような時間でした。こうした取り組みは小さな一歩かもしれませんが、「卒業後も母校とつな

がっている」という実感を、在学生に感じていただける場づくりだと思っています。

また私は大学内の教員として、アネモネ会と大学との連絡調整役も担っています。行事や支援の相談をつないだり、同窓会の想いを学内に共有したり、逆に大学の動きを同窓会側へ届けたりする役割であると感じています。両者の架け橋になることは責任もありますが、卒業生として母校に関われるありがたさを感じています。

皆さまにも、ぜひこれからも「出会い」と「仲間」を大切にしていきたいと思います。うまくいく時はもちろん、迷った時や苦しい時ほど、人とのつながりは心を温め、前へ進む力になります。そして、困ったときは周りにいる人に頼っていいと、私は思います。友達でも、親でも、職場の先輩でも。上記したこととも重なりますが、私自身、学友会長として走り回っていた頃も、仲間にも助けられながら一つひとつ乗り越えてきました。

さらに言えば、私たちアネモネ会には、県内外に 13,000 人を超える先輩方がいらっしゃいます。世代も地域も職種もさまざまですが、「同じ場所で学んだ」という共通点は思った以上に強い絆になります。悩みを抱えたとき、背中を押してほしいとき、誰かの経験談を聞きたいとき、どうかアネモネ会のつながりを思い出してください。きっと、あなたの一歩を支える手が見つかります。

卒業後の人生は、想像していたよりも長く、そして時に予想外の出来事に出会います。それでも、人との縁が豊かさを連れてきてくれる。私はそう信じています。皆さまのこれからの歩みが、出会いに恵まれ、心豊かなものとなることを心から願っております。最後になりますが、これから同じアネモネ会員として同窓会活動へのあたたかなご理解とご協力を、どうぞよろしく願いいたします。

盛岡大学短期大学部同窓会 アネモネ会 令和7年度活動報告

報告：藤田 清澄
(事務局長・幼児教育科40回生)

—活動報告—

(主な会務・活動 令和8年2月現在)

〈令和7年〉

- 4月3日 盛岡大学・盛岡大学短期大学部合同入学式
祝電・生花贈呈(アピオ 谷藤会長出席)
- 4月17日 令和6年度分 会計監査(会計・監事)
- 6月7日 令和7年度第1回役員会(盛岡大学同窓会
室 役員4名出席)
創設者細川泰子先生召天35周年墓前礼拝
(北山墓苑 役員2名出席)
- 6月15日 盛岡大学創立74周年記念礼拝(細川泰子
記念礼拝堂 谷藤会長・チャプレン出席)
- 8月3日 盛岡さんさ踊り盛大ドリーム33参加 優
秀賞(谷藤会長先導参加) ※写真A
- 10月11日 聖陵祭・聖華祭参観(盛岡大学校舎 役員
4名参観)
- 10月20日 第2回役員会・スポーツ大会準備(盛岡大
学同窓会室 役員5名出席) ※写真B
- 10月27日 スポーツ大会(大学体育館 役員4名参
観)
- 12月2日 クリスマス礼拝(アクティブホール 谷藤
会長出席)

今後の予定

〈令和8年〉

- 3月16日 短期大学部同窓会アネモネ会入会式
- 3月17日 盛岡大学・盛岡大学短期大学部合同卒業式

A 8月3日



B 10月27日



—助成活動報告—

- ①「学校法人盛岡大学施設設備サポート募金」10万円
寄付
- ②盛大ドリーム33出場支援 帯新調38本分174,190円
- ③スポーツ大会記念品 聖句入りクリアファイル贈呈
- ④盛岡大学紹介ミニ番組協賛費 #モリダイ・モリタン
2025 10万円
- ⑤卒業記念品 トートバッグ(卒業式当日贈呈)
- ⑥卒業式 お祝いイベント協賛費5万円

—令和7年度収支決算報告—

(令和7年4月～令和8年3月)

項目	決算額	備考
繰越金	831,702	
会費	959,670	新会員96名
雑収入	385	利息
合計	1,791,757	
活動費	705,353	助成・寄付活動含む
事務費	35,684	事務用品
通信費	21,220	郵便発送等
日当・交通費	84,000	役員会
慶弔費	89,608	
積立	200,000	母校支援記念事業
合計	1,135,865	

収入(1,791,757円)ー支出(1,135,865円)=655,892円

アネモネ会 令和7年度役員

役職	氏名	備考
会長	谷藤 育子	保育5回生
副会長	吉田 江美子	食栄7回生
	佐藤 澄子	保育9回生
	鈴木 亜希子	幼教22回生
	村木 香織	幼教29回生
事務局長	藤田 清澄	幼教40回生
事務局次長	片岡 易子	保育5回生
事務局	照井 里江	保育8回生
会計	居館 嘉代子	保育10回生
チャプレン	鵜丹谷 三千代	栄専9回生
会計監事	加藤 真知子	食栄4回生
名誉会長	遊佐 愛子	栄専1回生
顧問	長谷川 公一	盛岡大学短期大学部学長

特色ある教育活動の紹介

平素より後援会の皆様からは多大なるご支援やご協力を頂いておりますことに深く感謝いたしております。おかげさまで学生たちは様々な分野で活動することができています。その活動の一つである「特色ある教育」について紹介させていただきます。

「特色ある教育」は、「専門特別演習」という授業で実践しているゼミを主軸として活動しています。学生はそれぞれのゼミに所属して、研究を深めてテーマを決め、課題に取り組み、論文や作品に仕上げて発表しています。

「美術専攻ゼミ」では、テーマを決めて学生一人一人が作品に取り組み、市内のギャラリーで「美術専攻ゼミ展」を開催しました。「音楽ゼミ」では、それぞれ声楽やピアノを学び、子どもになじみのある曲を合唱や連弾などを通して盛岡大学附属幼稚園の子どもたちに披露しました。「野外教育・体験活動ゼミ」では、保育施設での自然保育ボランティアや野外炊事、雪遊びなどのリアルな体験活動、生成 AI の活用等を学びました。「特別支援教育ゼミ」では、学外授業として外部の福祉施設を訪問し、入所者との交流を通して研修し、各学生はテーマを決めて研究発表して論文集として発刊しました。その他に、「ワクワク劇場」では、民話をもとに脚本をつかって上演したり、絵本をもとにオノマトペで身体表現するなど発表する機会を得ました。また、聖華祭におけるゼミの発表や花巻おもちゃ美術館・子どもの森等の施設見学、音楽と朗読にステージ発表等々、様々な分野で研修をすることができました。そして、全ゼミの集大成として研修の内容をまとめた「特別演習集録」を毎年発刊しています。

ゼミ活動の他には、影絵サークルによる影絵の発表をこども園等に訪問して上演し、好評を得ています。

短大は、2年間という学業生活の中で、免許・資格に必要な科目を多く履修し、50日以上 of 校外実習に取り組むなどカリキュラムが凝縮されている中でのゼミ活動は、難しい部分もありますが、その限られた時間の中で行うこの活動はとても貴重な経験となっています。まさに百聞は一見にしかず。この経験を生かして、将来保育者として活躍する上で大いなる力となって発揮してくれることでしょう。このような貴重な活動ができるのも後援会のご支援の賜物と改めて感じております。心より御礼申し上げます。

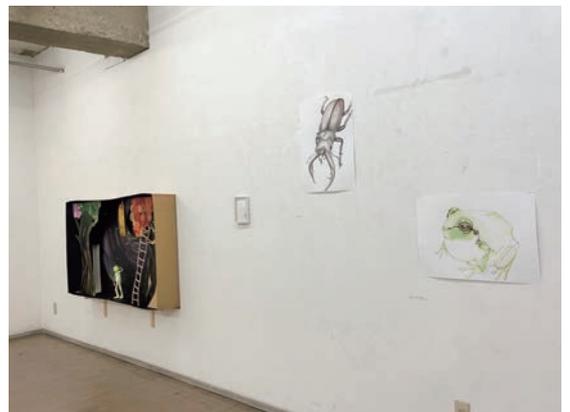
(盛岡大学短期大学部 菊池由美子)



ワクワク劇場



美術専攻ゼミ展



令和7年度の就職状況

盛岡大学短期大学部
就職対策委員会 委員長

澤口たまみ

盛岡大学短期大学部後援会の保護者の皆さまには、日ごろ、多大なるお力添えをいただいております。ご協力に、心からの感謝を申し上げます。「就職活動支援」も、後援会の助成事業のひとつとなっているところです。就職対策委員長として、令和7年度の就職状況について皆さまに報告いたします。

盛岡大学短期大学部では、就職を希望する学生のほとんどが、就職を実現させて卒業していきます。令和7年度の就職率にも大きな変化はなく、2年生はそれぞれ、新たな道に夢を膨らませながら、短大生活を終えようとしています。

学生の就職活動においては、盛岡大学・盛岡大学短期大学部共通の就職センターが大きな役割を担っており、令和7年度も「就職支援講座」や「盛岡大学・盛岡大学短期大学部合同企業セミナー」などの事業、および個々の学生への日々の就職支援を通じて、学生の希望を叶えるべく、尽力しています。

事業の軸となる「就職支援講座」は1年生の秋から始まり、2年生の春から継続して、幼稚園・保育園からの求人が本格化する2年生の秋までに指導を終える日程になっております。

内容は、1年生向けの講座では履歴書の書き方などの一般的なカリキュラムのほかに、幼稚園・保育園の園長から「どのような人材を希望しているか」を具体的に聞いたり、就職活動を終えた2年生から「就活体験談」を語ってもらったりと、学生に生きた情報を伝えられるよう工夫されています。

また2年生向けの講座は、就職活動にすぐに役立つ内容になっており、ことに履歴書の書き方については、1年生向けの講座で「就活体験談」を語った2年生から、「就職支援講座で書いた履歴書を大切に保存していたため、入りたい園が見つかった際に、採用試験までの日程が非常に短くハードだったにも関わらず、履歴書を写すだけで済み、たいへん助けられた」との声が聞かれました。

さらに「就活体験談」を語った上記の2年生か

らは、9月23日に開催された「盛岡大学・盛岡大学短期大学部合同企業セミナー」において、事業所のひとつとして参加していた幼稚園の話聞くうちに、「ここで働いてみたい」という強い思いが湧き上がり、すぐに就職活動に取り組んだところ、見事に採用となった、という話も語られました。

前述の通り、短期大学部の就職率は高いため、「就職できるか否か」ではなく、「どこに就職するか」が、就職活動のポイントになっています。たくさん園や施設があるなかで、どの園や施設が自分に合っているか、できるだけ実際に見学したり話を聞いたりして決めて欲しいと願っています。そして、それを見極めるために、上記のセミナーや来年度に計画している園見学ツアーを、大いに利用して欲しいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆さま向けには「就職懇談会」が開催されておりますので、ぜひご参加のうえ、盛岡大学短期大学部の就職活動について、ご理解をいただければと存じます。筆者も短大部の一教員として、就職活動に臨む2年生を見ていました。周囲の学生が内定をもらい始めるころには、焦る気持ちと闘いながら、毎日のように就職センターに通って求人票を見たり、面接練習をしてもらったりしている学生の姿が見受けられました。そういった学生の不安に、親身になって寄り添うことができているのであれば幸いです。



春季就職懇談会



担任と個別面談の様子



園長先生の講話



秋季就職懇談会



盛岡大学・盛岡大学短期大学部 合同企業セミナー



令和7年度 盛岡大学短期大学部進路状況
令和8年3月6日現在

	幼児教育科		
	男子	女子	計
卒業予定者数	2	49	51
就職希望者数	2	44	46
就職希望率	100.0%	89.8%	90.2%
就職内定者数	2	43	45
就職内定率	100.0%	97.7%	97.8%
活動中	0	1	1
就職しない・休学者	0	0	0
専門職	2	41	43
専門職比率	100.0%	95.3%	95.6%
進学希望者数	0	5	5
進学決定者数	0	5	5
未定者数(進学)	0	0	0

参考) 令和6年度 進路状況
令和7年5月1日現在

	幼児教育科		
	男子	女子	計
卒業者数	9	64	73
就職希望者数	5	59	64
就職希望率	55.6%	92.2%	87.7%
就職内定者数	5	59	64
就職内定率	100.0%	100.0%	100.0%
活動中	0	0	0
就職しない・休学者	1	3	4
専門職	5	53	58
専門職比率	100.0%	89.8%	90.6%
進学希望者数	3	3	6
進学決定者数	3	3	6
未定者数(進学)	0	0	0

特色を出して、輝いた二日間

2年 あきもと 秋元 かいしゅう 海洲



2025年10月11日と12日の両日、第40回目となる聖華祭が開催されました。今回の聖華祭は節目の40回目であり、前回に引き続き大学・短大が協力して聖華祭の運営を行いました。今年度は、前年使用していなかった短大棟の教室を活用しての開催となり、今まで以上に短大のカラーを出すことが可能となりました。

今回の学園祭テーマ「星月夜」には、ご来場した方も、そして私たち学生も輝くことができるような場を共有したいという願いが込められています。そのような願いを具現化するために、各ゼミやクラスでの準備を進めてまいりました。

1年生は屋外での出店を行い、A組がドリンク、B組が焼き鳥の販売を担当しました。どの学生も普段とは違った表情や様子が見られ、お互いを知る良い機会になったようです。2年生はゼミ単位での出店や展示が中心となりました。内容は、縁日企画やハンドマッサージ、アートサークルの展示・販売、遊び場の提供と遊具作り、居場所設置など、多様な内容となりました。幼児教育科らしく、子どもも楽しめる企画が複

数あり、来ていただいた方にも、満足していただいていたのではないかと考えています。

1年と2年の協力関係においては、昨年度以上にコミュニケーションをとり、連携しながら聖華祭を聖華祭に導くことができたのではないかと感じております。1年、2年共に慣れない点や分からないことは多々ありましたが、相談や対話を重ね、皆でより良いものを作り出していくとする過程は、日々の学問の中だけでは得られにくい貴重な体験となりました。

実行委員長として聖華祭の特徴を整理すると、①1年生でもクラス単位で出店できること、②2年ではゼミ単位でより専門的な展示や出店が可能になること、の2点ではないかと思えます。学外の方、例えば高校生が短大の様子を知る場として「オープンキャンパス」がありますが、学園祭の場合はより自然な形で学校や学生の空気感を体験できる貴重な場となっています。来年度も、ぜひ多くの方にご参加いただき、短大の「今」を体感していただきたいと考えています。





令和7年度 前期特別奨学生採用書の伝達式が行われる

10月29日（水）12時10分より、幼児教育科4名の本学前期特別奨学生の採用書伝達式が、役員会議室で行なわれました。

本学では、学生の学力、スポーツ等の成績向上と特別な才能の伸展、人格向上を目的として「特別奨学生制度」を設けています。

前期試験及び後期試験終了後、科から推薦された学生は特別奨学生選考委員会で慎重に選考さ

れ、採用された学生には奨学金が支給されます。

後期特別奨学生の採用は、1年生から2名で、3月に決定する予定です。

その他に家庭の経済状況の急変により、学業の継続が困難になった学生を救済する目的で設立された「盛岡大学短期大学部奨学金制度」があります。詳しくは学生部窓口にお問い合わせください。



特別奨学生 伝達式

令和7年度盛岡大学短期大学部 前期特別奨学生

学年	クラス・番号	氏名
2年	A組 26番	さとう このは 佐藤 心花
	B組 26番	やえがし なお 八重樫 奈央
1年	A組 19番	たかほし ひなた 高橋 ひなた
	B組 8番	はやし かおり 林 香織

盛岡大学短期大学部後援会 令和7年度行事・事業実施状況

○行事等開催状況

令和7年

- ・ 4月 3日 令和6年度盛岡大学・盛岡大学短期大学部入学式
- ・ 4月 4日～7日 新入生オリエンテーション
新入生への入学祝いとして讃美歌を贈呈
- ・ 4月 12日 令和6年度 会計監査
- ・ 4月 28日 第1回役員会
- ・ 5月 12日 スポーツ大会
- ・ 6月 7日 春季就職懇談会・担任との個人面談
(2年生対象)
定期総会
- ・ 8月 1日～4日 盛岡さんさ踊り
- ・ 10月 11日～12日 学園祭「聖華祭」
- ・ 10月 5日 秋季就職懇談会・担任との個人面談
(1年生対象)
- ・ 10月 27日 スポーツ大会
- ・ 12月 2日 大学・短大合同クリスマス礼拝

令和8年

- ・ 3月 18日 令和7年度卒業証書・学位記授与式
- ・ 3月 31日 盛岡大学短期大学部後援会だより（聖華第31号）を発行

○主な助成事業

- 1 教育奨励費
 - ・ 入学記念品（讃美歌贈呈）
 - ・ 実習前細菌検査
 - ・ 学生希望図書（66冊）
 - ・ 美術専攻ゼミ展（12月8日～13日
ギャラリー彩園子Ⅱ）
 - ・ クリスマス礼拝関係費
 - ・ スポーツ大会助成
 - ・ 卒業記念アルバム助成
- 2 就職対策費
 - ・ キャリア支援サイト契約
 - ・ 就職支援講座関係費
- 3 学校行事費
 - ・ さんさ踊り関係費
 - ・ 聖華祭関係助成
- 4 設備助成費
 - ・ 教育環境整備費（A・B・C校舎LED設置）
 - ・ パーティション（1台）
- 5 震災支援助成費
 - ・ 災害時用備蓄関連品